

海底土中の Am, Cm 分析結果

1. 測定結果

(単位: Bq/kg・乾土)

採取場所	採取日 分析機関	Pu-238 ^{*1}	Pu-239 ^{*1} Pu-240 ^{*1}	U-234 ^{*2}	U-235 ^{*2}	U-238 ^{*2}	Am-241	Cm-242	Cm-243 Cm-244
江名沖合 3km	9月8日 日本分析センター	N.D. [<1.4×10 ⁻²]	(4.5±0.29) ×10 ⁻¹	(5.5±0.40) ×10 ⁰	(2.2±0.71) ×10 ⁻¹	(6.4±0.44) ×10 ⁰	(1.8±0.16) ×10 ⁻¹	N.D. [<1.3×10 ⁻²]	N.D. [<1.2×10 ⁻²]
岩沢海岸沖合 8km	9月9日 日本分析センター	N.D. [<1.3×10 ⁻²]	(4.8±0.31) ×10 ⁻¹	(6.4±0.36) ×10 ⁰	(2.5±0.56) ×10 ⁻¹	(6.1±0.35) ×10 ⁰	(2.1±0.17) ×10 ⁻¹	N.D. [<1.2×10 ⁻²]	N.D. [<1.2×10 ⁻²]
鹿島沖合 5km		N.D. [<1.5×10 ⁻²]	(4.0±0.27) ×10 ⁻¹	(2.8±0.21) ×10 ⁰	N.D. [<1.2×10 ⁻¹]	(2.2±0.18) ×10 ⁰	(1.4±0.14) ×10 ⁻¹	N.D. [<1.1×10 ⁻²]	N.D. [<1.1×10 ⁻²]
福島第一 5,6号機放水口北側	9月12日 日本分析センター	N.D. [<1.4×10 ⁻²]	(8.6±1.1) ×10 ⁻²	(1.4±0.15) ×10 ⁰	N.D. [<1.5×10 ⁻¹]	(1.5±0.17) ×10 ⁰	(2.9±0.58) ×10 ⁻²	N.D. [<1.3×10 ⁻²]	N.D. [<1.1×10 ⁻²]
原町区沖合 3km	9月13日 日本分析センター	N.D. [<1.3×10 ⁻²]	(3.9±0.26) ×10 ⁻¹	(2.4±0.20) ×10 ⁰	N.D. [<1.4×10 ⁻¹]	(2.0±0.18) ×10 ⁰	(1.5±0.14) ×10 ⁻¹	N.D. [<1.3×10 ⁻²]	N.D. [<1.2×10 ⁻²]
福島第一 1~4号機放水口南側	9月15日 日本分析センター	N.D. [<1.5×10 ⁻²]	(1.4±0.14) ×10 ⁻¹	(2.3±0.21) ×10 ⁰	N.D. [<1.6×10 ⁻¹]	(2.4±0.21) ×10 ⁰	(3.8±0.71) ×10 ⁻²	N.D. [<1.2×10 ⁻²]	N.D. [<1.1×10 ⁻²]
岩沢海岸沖合 3km		N.D. [<1.7×10 ⁻²]	(4.9±0.34) ×10 ⁻¹	(6.9±0.46) ×10 ⁰	(2.5±0.72) ×10 ⁻¹	(8.1±0.52) ×10 ⁰	(2.0±0.18) ×10 ⁻¹	N.D. [<1.5×10 ⁻²]	N.D. [<1.4×10 ⁻²]
小高区沖合 3km		N.D. [<1.3×10 ⁻²]	(1.6±0.16) ×10 ⁻¹	(3.0±0.26) ×10 ⁰	(2.4±0.66) ×10 ⁻¹	(3.6±0.29) ×10 ⁰	(7.3±0.98) ×10 ⁻²	N.D. [<1.2×10 ⁻²]	N.D. [<1.2×10 ⁻²]
福島第一 敷地沖合 15km	9月25日 日本分析センター	N.D. [<1.2×10 ⁻²]	(6.0±0.35) ×10 ⁻¹	(1.0±0.51) ×10 ¹	(4.3±0.87) ×10 ⁻¹	(9.2±0.48) ×10 ⁰	(2.7±0.20) ×10 ⁻¹	N.D. [<1.2×10 ⁻²]	N.D. [<1.2×10 ⁻²]
1~3号機における平均核種濃度比(Pu-238を1とした場合の比) ^{*3}		1	-	-	-	-	0.1	10	1

*1: 平成23年10月6,25日公表 *2: 平成23年10月16,25日公表 *3: ORIGINコードによる計算値(概数)

2. 評価

今回検出された Am-241 は、以下の理由により、今回の事故に由来するものとは判断できない。

- ・ 検出された Pu-239 + Pu-240 は、福島第一および福島第二付近の海域における過去(平成11年度~平成20年度)の測定値の範囲内であること
- ・ 検出された U-234, U-235 及び U-238 は、天然に存在するものと同じレベルと評価されること
- ・ 自然界に存在しない核種である Cm-242, Cm-243 及び Cm-244 は、検出されていないこと

以上